



「知のフォーラム」21世紀の支倉常長プロジェクト推進企画 「日本学における知の創出セミナー」

日本学セミナーは、日本を「対象」とする研究や、日本からの「視点」を重視する研究を広く「日本学」と捉えることにより、多様な日本学研究者の研究交流を促進し、東北大学における日本学の研究力強化を図ることが目的です。2016年度「知のフォーラム」テーマプログラムの一つである「21世紀の支倉常長プロジェクト：新たな日本学の創出」(オーガナイザー：尾崎彰宏 文学研究科教授ほか)の一環として開催しています。



Seminars on Japanese Studies as an
Interdisciplinary Meeting Point

第6回 日本学セミナー 人形浄瑠璃文楽、 伝統演劇の魅力と苦難

講師：ポナヴェントウーラ・ルベルティ
(ヴェネツィア、カ・フォスカリ大学教授)

司会：横溝 博
(東北大学院文学研究科 准教授)

世界に比類のない人形浄瑠璃文楽は長い伝統をもっています。太夫、三味線、人形の三業それぞれの独自の発展によって、叙事詩から演劇の世界へと展開してきました。その魅力は秀でた「わざ」から生まれる太夫の語り、三味線の音楽、三人遣いの人形によりますが、優れた劇文学に支えられたドラマも感動の尽きないものです。しかし、文楽は江戸時代から現在に至るまでの変遷とともに、盛衰もくり返し、度重なる危機を乗り越えてきました。本講演では、イタリア古典演劇の観点をも踏まえながらも、日本の舞台芸術の魅力を考え直します。現代の時勢と戦う人形浄瑠璃文楽の苦難を通して、伝統演劇の存在意義に迫りたいと思います。

日時：2016年7月22日(金) 15:00～16:30

会場：東北大学川内南キャンパス
文学研究科棟 3階 311教室

事前申込：不要 ※どなたでもご参加いただけます

事務局：塩谷 芳也 (知の創出センター特任助教、プログラムコーディネータ)
email shiotani@m.tohoku.ac.jp

主催：知の創出センター
尾崎 彰宏 (文学研究科 教授)



TOHOKU FORUM
for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp

Supported by TEL TOKYO ELECTRON